

※ 結線部に強い力が加わるような使い方は避けて下さい。
クランプナットを締め付けた際にケーブルパッキン内径部との密着性を損なわない構造のケーブルを選定して下さい。

プラグ 製品に添付されたモジュラープラグを使うこと。

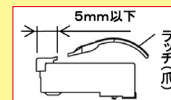
モジュラープラグの圧着工具（日本製線㈱ NST88）をご用意ください。

結線ミス等によりモジュラープラグが不足した場合、別売のモジュラープラグ（NSP524-S NO-LATCH × 5）をご購入ください。

弊社で販売するモジュラープラグ以外を使う場合には、右図の様にラッチ（爪）を根元から切断すること。

日本製線㈱製 NSP524-S を推奨

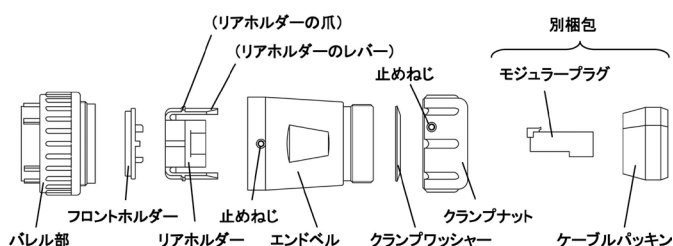
以下 T568B 結線での説明です。



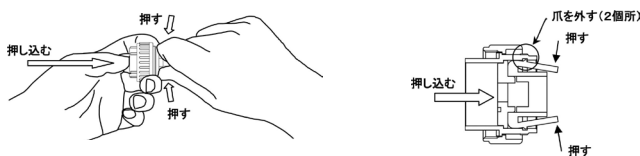
1. 構成図の通りコネクタを分解する。

※ このシリーズの止めねじは、六角穴付き止めねじが使用されています。

※ 六角レンチのサイズは 1.5mm です。

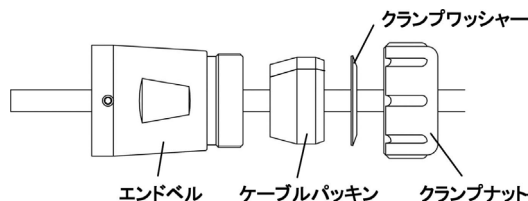


- ① エンドベル側面の止めねじを緩め、エンドベルを回転させ、パレル部より外す。
- ② クランプナット側面の止めねじを緩め、クランプナットを回転させ、エンドベルより外す。
- ③ パレル部からフロントホルダー・リアホルダーを外す。リアホルダーのレバーを押ししながら、フロントホルダーを軽く押し込む。



2. 分解した各部品を下図の順でケーブルに通す。

注) 各部品の順番、向きを間違えない様にする。



3. 使用ケーブルのシース及び電線を以下の要領で剥く。

- ① ケーブルシースを約 40mm 除去する。

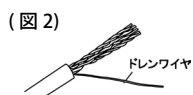
注)

※ 二重シースケーブルの場合、外側のシースは約 60mm 除去すること。(図 1)

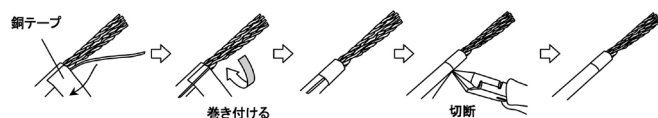
※ ケーブルシースが薄く柔らかい場合、より安定した防水性能を得るため、ケーブルパッキンのかかる部分を防水用熱収縮チューブ等により補強すること。

- ② 遮蔽テープ、押さえ巻きテープを芯線の根元で除去する。

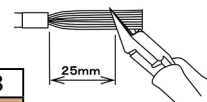
注) ドレンワイヤや編組は残すこと。(図 2)



- ③ 添付の銅テープを粘着面を内側にして、ドレンワイヤを包み込む様にケーブルシースに巻き付けた後、銅テープから出ている余分なドレンワイヤを切断する。編組シールドのケーブルは、編組を折り返した上に銅テープを巻き付ける。



- ④ ケーブルシースの根元まで各対の撚りを戻し、下の結線表に従い芯線の配列を整える。芯線を一列にし、ケーブルの根元から 25mm ほどあけて芯線を斜めに切断する。

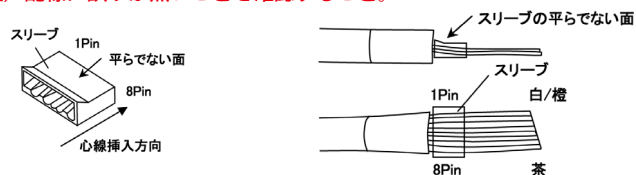


Pin No.	1	2	3	4	5	6	7	8
T568B	白 橙	橙	白 緑	青	白 青	緑	白 茶	茶
T568A	白 緑	緑	白 橙	青	白 青	橙	白 茶	茶

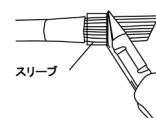
4. RJ45 シールドモジュラープラグへ結線する。

- ① 1Pin に白 / 橙、8Pin に茶色の芯線となる様にスリーブに挿入する。ケーブル根元とスリーブの間になるべく隙間が生じない様にしっかりと挿入する。

注) 配線に誤りが無いことを確認すること。

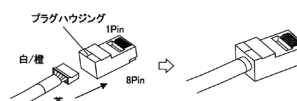


- ② スリーブの先端で余分な芯線を切断する。

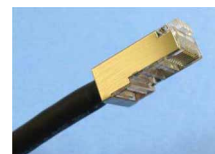


- ③ 1Pin に白 / 橙、8Pin に茶色の芯線となる様にプラグハウジングに挿入する。

注) しっかり奥まで差し込むこと。



- ④ 圧着工具 NST88 にプラグハウジング先端をしっかりと奥まで差し込み一括圧着する。



6. 下記の要領でコネクタを組み立てる。

注) ※断線するおそれがあるのでバレル部を回転させて締め付けないこと。締め付けのトルク値は下の表を参照。

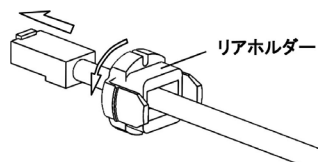
※エンドベルを斜めにねじ込まないこと。

※構成部品が破損する可能性があるため、必要以上の力を加えないこと。

※パッキン類に汚れが付着すると防水性に影響が出ることがあるのできれいな状態で作業すること。

※ケーブルパッキンをエンドベルに押し込む際は、ケーブルに傷を付けない様に慎重に行うこと

- ① リアホルダーにモジュラープラグを通し、リアホルダーを 90 度回す。

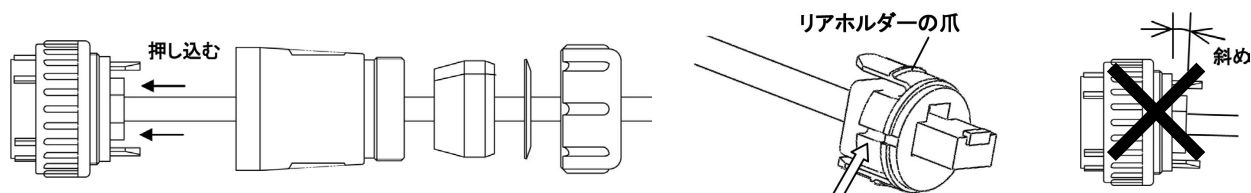


- ② フロントホルダーとリアホルダーでモジュラープラグを挟む。



- ③ バレル部内側のガイド突起とホルダー外側のガイド溝（下図参照）位置を合わせバレル部にリアホルダーをしっかりと押し込む。

注) 爪がバレル部に確実に入り込んだことを確認するため、ケーブルを軽くひっぱり抜けないことを確認すること。
バレル部に対してリアホルダーが斜めに入っている場合、爪が入りきれていないことが考えられるので注意すること。



- ④ バレル部を固定し、カップリングを装着した上でエンドベルを回転させて締め付ける。
⑤ エンドベル側面の止めねじを締め付ける。
⑥ エンドベル内にケーブルパッキンを押し込み、エンドベルを固定してクランプナットを締め付ける。
（1 分間に 1 回転以下の速度でねじ込むこと）
⑦ ケーブルを前後左右に動かしてなじませ（下図参照）、再度クランプナットを締め付ける。
⑧ クランプナットの止めねじを締め付ける。



[単位：N・m]

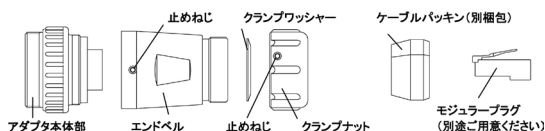
締め付け箇所	
バレル部-エンドベル	1.5 ～ 2.0
エンドベル-クランプナット	1.5 ～ 2.0
止めねじ	0.2 ～ 0.3

アダプタ **レセプタクル** 製品にモジュラープラグは添付しておりません。別途ご用意ください。
日本製線(株)製 NSP524-S を推奨

アダプタ

1. 構成図の通りコネクタを分解する。

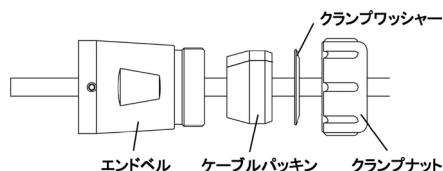
※ このシリーズの止めねじは、六角穴付き止めねじが使用されています。
※ 六角レンチのサイズは 1.5mm です。



- ① エンドベル側面の止めねじを緩め、エンドベルを回転させ、アダプタ本体部より外す。
- ② クランプナット側面の止めねじを緩め、クランプナットを回転させ、エンドベルより外す。

2. 分解した各部品を下図の順でケーブルに通す。

注) 各部品の順番、向きを間違えない様にする。



3.RJ45 シールドモジュラープラグへ結線する。

結線用に別途市販のモジュラープラグを準備し、結線方法はモジュラープラグメーカーの推奨する方法に従うこと。

※ 日本製線(株)製 NSP524-S を推奨

4. 下記の要領でコネクタを組み立てる。

注) ※断線するおそれがあるのでアダプタ本体部を回転させて締め付けないこと。締め付けのトルク値は下の表を参照。

※エンドベルを斜めにねじ込まないこと。

※構成部品が破損する可能性があるため、必要以上の力を加えないこと。

※パッキン類に汚れが付着すると防水性に影響が出ることがあるのできれいな状態で作業すること。

※ケーブルパッキンをエンドベルに押し込む際は、ケーブルに傷を付けない様に慎重に行うこと

- ① アダプタ本体部にモジュラープラグを差し込む。

注) 確実に入り込んだことを確認するためケーブルを軽くひっぱり、抜けないことを確認すること。

- ② アダプタ本体部を固定し、エンドベルを回転させて締め付ける。

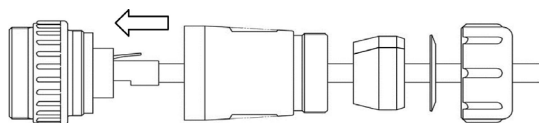
- ③ エンドベル側面の止めねじを締め付ける。

- ④ エンドベル内にケーブルパッキンを押し込み、エンドベルを固定してクランプナットを締め付ける。

(1 分間に 1 回転以下の速度でねじ込むこと)

- ⑥ ケーブルを前後左右に動かしてなじませ (下図参照)、再度クランプナットを締め付ける。

- ⑦ クランプナットの止めねじを締め付ける。



[単位: N・m]

締め付け箇所	
アダプタ本体部-エンドベル	1.5 ~ 2.0
エンドベル-クランプナット	1.5 ~ 2.0
止めねじ	0.2 ~ 0.3



レセプタクル

1.RJ45 シールドモジュラープラグへ結線する。

結線用に別途市販のモジュラープラグを準備し、結線方法はモジュラープラグメーカーの推奨する方法に従うこと。

2. 下記の要領でコネクタを組み立てる。

レセプタクルの取り付け面側にモジュラープラグを差し込む。

注) 確実に入り込んだことを確認するためケーブルを軽くひっぱり、抜けないことを確認すること。

